(C)十勝毎日新聞社

冬季ユニバ

高木美 1000金メダル

スピード 五輪選考前に復調

【トレント（イタリア）】ユニバーシアード冬季大会第8日は18日、イタリアのトレントなどで行われ、スピードスケート女子１０００㍍は高木美帆（日体大ー帯南商高出）が1分19秒58で金メダルを獲得した。桜井萌美（日体大ー白樺学園高出）は1分22秒06で12位。男子1万㍍は土屋良輔（専大）の9位が最高。小川新太（明大ー白樺学園高出）は10位。

太田ゆき菜（帯畜大）が出場のアイスホッケー女子は準決勝で優勝候補のカナダと対戦し、０―15で敗れた。3位決定戦で米国と戦う。

ノルディックスキーの複合団体では、日本（山元豪＝早大、堀米翔大＝日大、清水亜久里＝専大）が銅メダルを獲得した。アルペンスキーの女子大回転は新井真季子（法大）が25位。

スピードスケート・ショートトラックの男子１５００㍍では横山大希（関学大）が4位、斎藤悠（神奈川大）は6位。

ユニバーシアード冬季大会スピードスケート女子１０００㍍で金メダルを獲得した高木美帆＝18日、イタリア・トレント郊外（時事）

スピードスケート女子1000㍍で金メダルを獲得し、笑顔の高木美帆＝18日、イタリア・トレント郊外（時事）

感覚戻ってきた 高木美

▽…レースを終えた直後、スピードスケート女子の高木は今大会で初めて満足そうな表情を浮かべた。１５００と３０００㍍ではメダルに届かなかったが、最後に金メダルを獲得。２位を０秒26差で振り切り、「レース感覚が良かった。まずまずの内容」と自分に及第点を与えた。

今月末のソチ五輪代表選考会に向けて、これが最後の実戦だった。代表入りは「ぎりぎりの位置にいる」と自覚しながらも、「感覚が戻ってきた。選考会を前に、そういう気持ちでレースを終えられて良かった」。今季は満足な成績を残せずにいたが、男子に交じって練習し、スピード感覚を取り戻そうと努めたことが成果を見せつつある。

（関係分）

＜スピードスケート＞

【男子】▽1万㍍＝⑨土屋良輔（専大）14分15秒68⑩小川新太（明大ー白樺学園高出）14分22秒21

【女子】▽１０００㍍＝①高木美帆（日体大ー帯南商高出）1分19秒58⑥阿部友香（高崎健大）1分20秒64⑨黒岩美生（日体大）1分21秒92⑫桜井萌美（日体大ー白樺学園高出）1分22秒06

＜アイスホッケー＞

【女子】▽準決勝

カナダ　15（３―０　５―０　７―０）０　日本